

公益財団法人 水 交 会  
平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1 全般

平成29年度の事業は、年度事業計画及び収支予算に基づき実施し、概ね計画どおり順調に経過した。

2 事業等

(1) 海洋安全保障思想の研究・普及

ア 海洋安全保障に関する調査研究

(ア) 研究活動の実施

- a 戦史に関する知見を深めるために実施していた海軍の歴史勉強会を聴衆の門戸を広げるため海軍歴史公開講座と名称を改め、6回開催した。
- b 笹川財団海洋政策研究所と4回目の「海洋安全保障シンポジウム」を共催した。
- c 2回目となる4団体（隊友会、偕行社、水交会、つばき会）合同の政策提言を作成し防衛大臣に提出した。
- d 海洋安全保障に関する研究成果を水交誌等に投稿した。
- e 先人の残された資料の収集・整理を実施した。

(イ) 防衛関係諸団体等との交流

- a 海軍兵学校、海軍機関学校、海軍経理学校のクラス会、予備学生の会、予科練出身者の会等は高齢のため、解散するところが多くなっている。懇親会への招待等を通じて交流を図った。
- b 安全保障に関連し、陸海空のOBが主たる構成員である隊友会、偕行社、水交会、つばき会で構成する4団体連絡会に参加した。
- c 各支部においては、講演会の共同開催、記念日行事等を通じて防衛関連諸団体等と交流を図った。

イ 海洋安全保障思想の普及活動

(ア) 講演会・各種セミナーの開催

- a 水交会本部の定例講演会等を10回、防衛セミナーを1回、水交セミナーを1回開催し防衛思想の普及等に努めた。
- b 一般団体（ロータリークラブ等）から15件の講話依頼があり、講師を派遣した。
- c 各支部は年1～2回の講演会を計画実施した。

(イ) 水交誌等の発刊

- a 水交誌は、年間4回発刊、会員に頒布するとともに希望する一般の人にも頒布した。また、関係諸団体、関係官庁、報道・出版関係、国立国会図書館、

各都道府県立図書館及び各自衛隊地方協力本部にも配布した。海上自衛隊には各部隊等に対し毎号500部、海外派遣部隊に対し毎号30部を寄贈した。

b 電子ファイル化した「水交」誌の閲覧要領を定める「公益財団法人水交会「水交」電子版管理規則」を制定した。

c ホームページに、これまでに発刊した水交誌掲載記事を、「水交記事リスト」として公開するとともに、「ニュースレター」コーナーで海洋安全保障に関する意見の発信を行った。

d 各支部は年1～4回支部会報誌又は新聞を発行し、会員に配布するとともに、地域の海上自衛隊の部隊、及び自治体・団体に配布した。

(ウ) マスコミの取材等に対する協力

a テレビ局・新聞社等からの問い合わせ、紹介等の要請に協力した。

b 作家、ジャーナリスト及び一般の人等からの海軍に関する各種問合せ・経歴確認等の要請に協力した。

(2) 海上自衛隊に対する協力支援

海上自衛隊に対する協力支援を次のとおり実施した。

ア 海外活動に対する支援

(ア) 海外派遣部隊等の出入国行事に各支部会員が参加し、激励した。

(イ) 練習艦隊の出入国行事に参加するとともに、内地巡航中の各寄港地において本部及び各支部が壮行会を主催又は協賛して激励・支援した。

(ウ) 砕氷艦「しらせ」の出入港行事に参加した。

イ 教育訓練等に対する支援

(ア) 講師の派遣

a 統幕学校・幹部学校等の幹部課程等へ講師を派遣した。

b 海上自衛隊各術科学校で実施された上・中級管理講習に最寄りの支部等から講師を派遣した。

(イ) 体育活動に対する支援

海上自衛隊大会(フットサル、柔道・剣道)において、優勝杯を授与した。

(ウ) 援護業務に対する支援

援護業務関係隊員を激励支援した。

(エ) 幹部学校への支援

幹部学校が実施する研究発表を支援した。

ウ 各種行事及びその他に対する支援・協力等

(ア) 幹部候補生学校の入校式、卒業式に参加し、卒業式において激励賞を贈呈した。

(イ) 航空学生の入隊式に参加し激励した。

(ウ) 教育隊(横須賀、舞鶴、呉、佐世保)の入隊式、修業式に参加し、修業式

において激励賞を贈呈した。

(エ)「てつのくじら館」(海上自衛隊呉資料館)に対して呉支部が支援を実施した。

(オ)留守家族支援は横須賀、湘南・舞鶴・大湊に佐世保支部が新たに加わり、総監部等と覚書を交換し、横須賀、舞鶴においては水交会単独で、その他の地域では隊友会、自衛隊家族会等と共同で支援を開始している。

(3) 海上防衛活動等における戦没者・殉職者の慰霊顕彰及び遺族に対する援護等

ア 慰霊行事及び祭典等の実施・参加等

(ア)水交会月例参拝会(靖国神社・千鳥ヶ淵戦没者墓苑・自衛隊殉職者慰霊碑)を4月、10月を除き10回実施した。

(イ)厚生労働省・防衛省の主催する主要慰霊祭への参列

a 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式、全国戦没者追悼式、自衛隊殉職隊員追悼式に参列した。

b 各地域所在部隊の殉職隊員追悼式に支部会長等が参列した。

(ウ)靖国神社、東郷神社等の慰霊祭及び例祭へ参列した。

(エ)慰霊祭の実施及び参加並びに慰霊施設の維持協力

a 大湊支部は海軍戦傷病者慰霊祭、湘南支部は神雷部隊慰霊祭、関西支部は関西地区海軍戦没者追悼式、呉支部は水交神社例祭・海軍祭の各慰霊祭を主催して実施した。

b 本部は海防艦慰霊祭、舞鶴支部は海軍墓地慰霊祭の慰霊祭、関西支部は海軍熊野灘部隊戦没者追悼式、福岡支部・佐世保支部は日本海海戦記念行事、鹿児島支部は東郷記念祭を共催して実施したほか、本部及び各支部は地域の海軍墓地、戦没者慰霊祭等に参列又は支援した。

(オ)洋上慰霊祭等における献花

遠洋練習航海部隊の実施する洋上慰霊祭に花輪を委託していたが、水溶性の材料の使用に限定されたことから、本年は実施できなかった。

(カ)防衛・慰霊顕彰関係に携わる団体が構成する「洗心懇談会」が毎月1回行われ、これに参加した。

イ 遺族等に対する援護等

(ア)遺族等からの軍歴等の照会に対し、調査、確認等の支援を実施した。

(イ)「わだつみ会」に義捐金を贈呈して支援した。

(ウ)一般社団法人「日本戦没者遺骨収集推進協会」の計画した硫黄島遺骨帰還事業(30.1.31~2.14)に水交会から1名が参加した。硫黄島以外の地域への派遣要請はなかった。

(エ)靖国神社崇敬奉賛会、東郷神社、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会等の奉賛事業に賛助又は協力した

(4) 地域社会活動への寄与

- ア 大和ミュージアムにおける説明、観光船の案内等、各支部は地方自治体等に対する協力支援を実施した。
- イ 地域社会・公益諸団体等への協賛・交流等を実施した。
- ウ 東郷会等との共存関係の強化策について検討し、実行に移した。

(5) その他の事業等

ア 会勢拡充活動

(ア) 会員 (1月末の人員→3月末に修正する)

会員の種類		29年度末(28年度末)
正会員		4,930名(5,078名)
賛助会員	個人(海自隊員)	5,348名(5,155名)
	法人(社)	53法人(51法人)

(イ) 支部

支部は、北海道、大湊、下総、横須賀、湘南、舞鶴、関西、呉、福岡、佐世保及び鹿児島等の11支部で変化はなかった。

なお、下総の支部会長が交代した。

(ウ) 会勢拡充の活動

- a 賛助会員(海上自衛隊の隊員)の加入促進を図るため、役員等が各地の海上自衛隊の部隊を訪問して現状を説明、水交会の目的に賛同を得ることに努めた。
- b 防衛セミナー・水交セミナーの場を活用し、多方面にわたる業種の会社に働きかけを実施し、法人・団体賛助会員の増勢に努めた。
- c 上級・中級管理講習の場を活用して水交会の活動状況を紹介し、退職隊員の入会促進に努めた。
- d 海幕、各総監部はじめ各部隊等の援護業務課・援護室、及び水交会各支部に配布した「水交会のパンフレット・入会申込書」の残部数の確認等を行うとともに、継続して、隊員退職時の入会勧誘及び有志会員の勧誘に努めた。

イ 支部事業活動

各支部は各支部の年度事業計画に基づき、事業活動を実施した。

(6) 集会設備の運営

ア 水交クラブ利用状況

2月末の数値→3月末に修正

29年度の利用状況は、利用人数(組数)13,114人(700組)であった。

[28年度実績 14,115人(748組)]

イ 環境整備

害虫(カ・チョウバエ)の駆除を実施した。(衛生)

(7) 管理業務

ア 法人全般業務

(ア) 委員会等の開催 (29. 4. 1～30. 3. 31)

委員会の種類	実施回数	委員会の種類	実施回数
会務財務委員会	4	支部・会勢拡充委員会	4
慰霊顕彰・援護委員会	4	海自等支援協力委員会	5
研究委員会	6	広報委員会	11
編集委員会	4	クラブ委員会	4
施設委員会 (臨時)	0	企画分科委員会	2

(イ) 支部会長会議の開催

6月23日(金)、支部会長会議を実施した。

イ 広報活動

(ア) 海上自衛新聞等に寄稿し、海上自衛隊への支援活動等の情報発信に努めた。

(イ) 広報用ポスター4種類、4,200枚を印刷し、その半数を個艦、航空隊にいたるまでの各部隊に配布するとともに、部隊内への掲示を依頼した。

ウ 会員相互の親睦等

(ア) 会員の同好会活動

水交乗馬会、水交句会、水交囲碁会、コントラクトブリッジ会が同好会活動を実施した。

各支部においては部隊研修、研修旅行、ゴルフ、史跡めぐり、ハイキング等活発な活動を行った。

(イ) 会員の慶弔

公益財団法人水交会慶弔規定に基づき実施した。

エ 管理業務

(ア) 理事会及び評議員会等の開催

会議の種類	実施回数	実施期日
通常理事会	2	29. 5. 22 (月)
		30. 3. 14 (水)
臨時理事会	1	29. 6. 15 (木)
定時評議員会	1	29. 6. 15 (木)

(イ) 木洋会の事務移管に伴い、通信連絡事務所を水交会事務局内に設置した。

(ウ) サイバー攻撃への対応

a 注意喚起のための講習を実施して、各委員会の委員に周知した。

b 防衛省が主導する関連団体情報共有サービスに参画し、ウイルス情報の早期入手に努めることとした。